学科	研究科	学年	1	区分	専門	科目	学科Ⅰ（建築計画） 学科Ⅲ（建築材料のみ）	総時間	前期	8.0×12
									後期	

指導目標	「計画」の過去の出題を分野別に見ると、環境工学７問、計画各論９問、設備７問、意匠建築史２問程度と、例年同じような傾向にある。その内容についても類似しているものが多く、過去問題を数多くこなすことが計画攻略の第一歩である。選択肢一つ一つを吟味し、誤っている記述はどう表現を変えれば適当な表現になるか検討し、より理解を深めさせる。学科Ⅲの範囲における建築材料に関する分野も計画との関連を意識して、より理解が深まるように、学習させる。 また、過去の出題傾向を徹底的に分析した、精度の高い確認テストを行ない、知識の定着度を確認し、弱点の克服の参考とする。
評価方法	授業内で実施する演習問題と模擬試験により評価する。定期試験は実施しない。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
1		学科Ⅰの試験について			
2		環境工学			
3		環境工学			
4		建築設備			
5		建築設備			
6		環境工学・建築設備複合			
7		建築史			
8		計画各論			
9		計画各論			
10		建築材料			
11		建築材料			
12		総合・まとめ			
			備考		

学科	研究科	学年	1	区分	専門	科目	学科Ⅱ （建築法規）	総時間	前期	8.0×12
									後期	

指導目標	「法規」では、２５問中、建築基準法関係が約２２問、残りの３問は、建築士法や関連法規から出題されている。法規の試験の解答は全て法令集の中にあるので、法令集を必ず開いて、参考書、問題集をチェックさせる。この選択肢は何条の何項に該当しているので〇、この選択肢はＸというように条文に照らしながら講義を行なう。また、法令集に添付されているインデックスの活用方法も講義する。 また、過去の出題傾向を徹底的に分析した、精度の高い確認テストを行ない、知識の定着度を確認し、弱点の克服の参考とする。
評価方法	授業内で実施する演習問題と模擬試験により評価する。定期試験は実施しない。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
1		2級建築士試験・学科Ⅱの試験ついて			
2		建築基準法			
3		建築基準法			
4		建築基準法			
5		建築基準法			
6		建築基準法			
7		建築基準法			
8		関連法規			
9		関連法規			
10		関連法規			
11		まとめ			
12		テスト直し			
			備考		

学科	研究科	学年	1	区分	専門	科目	学科Ⅲ （建築構造） ※材料分野を除く	総時間	前期	8.0×12
									後期	

指導目標	建築構造は過去問題の類似問題が多いので繰り返し過去問題を行なう。 ただし記憶に頼るのではなく解答への筋道を理解する。 計算問題は難解な問題は少ないので実際に計算を行ない数値を算出する。 終盤は問題演習により苦手分野に重点を置く。
評価方法	授業内で実施する演習問題と模擬試験により評価する。定期試験は実施しない。

指　導　内　容

回数	月日	前　期	回数	月日	後　期
1		学科３（建築構造）の問題傾向と取り組み方			
2		構造力学			
3		構造力学			
4		構造力学			
5		一般構造			
6		一般構造			
7		一般構造			
8		構造力学			
9		構造力学			
10		構造力学			
11		構造力学			
12		まとめ・テスト直し			
			備考		

学科	研究科	学年	1	区分	専門	科目	学科Ⅳ （建築施工）	総時間	前期	8.0×12
									後期	

指導目標	「施工」は鉄筋工事やコンクリート工事などの各種工事は、もちろん、積算、測量、契約についても出題されている。各種工事では、建築工事標準仕様書・建築工事共通仕様書を根拠にした問題が多くある。注意したいのは、試験に用いられるこれら仕様書の用語と、日ごろ現場で使っている言葉が異なる点である。現場では商品名や一般的呼び名などが使われており、試験用語とのすり合わせが大切である。積算は建築数量積算基準、契約は民間連合協会の工事請負契約約款に基づいた問題が出されている。これらの出版物にも目を通しながら講義する。 また、過去の出題傾向を徹底的に分析した、精度の高い確認テストを行ない、知識の定着度を確認し、弱点の克服の参考とする。
評価方法	授業内で実施する演習問題と模擬試験により評価する。定期試験は実施しない。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
1		学科Ⅳの試験について			
2		施工計画／工事管理・工事監理			
3		各部工事			
4		各部工事			
5		各部工事			
6		各部工事			
7		各部工事			
8		各部工事			
9		施工機械・積算・測量・工事契約・仕様書			
10		施工機械・積算・測量・工事契約・仕様書			
11		総合・まとめ			
12		テスト直し			
			備考		

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	建築製図（４・５・６月）	総時間	前期	8.0×12
									後期	

指導目標	時間内に図面を完成させるテクニックや、要求される図面の的確な表現方法を習得させ、どんな課題にも対応できる力を身につけさせる。さらに、想定課題に対する徹底した演習により、合格図面の描き方を指導する。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前　期	回数	月日	後　期
1		二級製図試験の概要			
2		立面図・断面図			
3		課題の読み取り			
4		法規の説明			
5		課題の読み取り・耐力壁			
6		参考課題作図練習			
7		４時間で書き上げる練習			
8		短計図			
9		エスキスの作成			
10		エスキスの作成			
11		課題・個別添削演習			
12		課題・個別添削演習			
			備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。	

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	建築製図（７・９月）	総時間	前期	8.0×30
									後期	

指導目標	時間内に図面を完成させるテクニックや、要求される図面の的確な表現方法を習得させ、どんな課題にも対応できる力を身につけさせる。さらに、想定課題に対する徹底した演習により、合格図面の描き方を指導する。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
1		二級建築士設計製図課題について	27		二級製図模擬試験３
2		課題１	28		模擬試験３グループミーティング
3		課題１	29		最終確認事項
4		課題２	30		質疑応答
5		課題２			
6		課題３			
7		課題３			
8		課題４			
9		課題４			
10		課題５			
11		課題５			
12		二級製図模擬試験１			
13		模擬試験１グループミーティング			
14		課題６			
15		課題７			
16		課題８			
17		課題９			
18		課題１０			
19		二級製図模擬試験２			
20		模擬試験２グループミーティング			
21		課題１１			
22		課題１２			
23		課題１３			
24		課題１４			
25		課題１５	備考		※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。
26		課題１６			

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	建築研究 （設計・制作・論文）	総時間	前期	
									後期	8.0×１7

指導目標	個々の研究テーマに応じて、その専門性を深化させる。 建築設計、住宅専門技術、建築設備技術、など技術的な方向や、建築文化やデザインに関するものなど、3年間の学習の集大成として制作物、論文などにまとめ、広く発信する力をつける。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前　期	回数	月日	後　期
			1		オリエンテーション/テーマ設定
			2		建築研究１
			3		建築研究２
			4		建築研究３
			5		建築研究４
			6		建築研究５
			7		建築研究６
			8		建築研究７
			9		建築研究８
			10		建築研究９
			11		建築研究１０
			12		建築研究１１
			13		建築研究１２
			14		建築研究１３
			15		建築研究１４
			16		建築研究１５
			17		建築研究１６

備考	

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	プロダクトデザイン（家具・照明）	総時間	前期	
									後期	8.0×17

指導目標	家具のデザインをアイデアを出すところから取り組み、物づくりの考え方を理解する。家具デザインにおける基本的な表現方法（３面図・詳細図）を学び、さらに制作手法を検討しながら、実物または模型を製作する。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
			1		オリエンテーション/テーマ設定
			2		資料収集の方針決定
			3		〃
			4		人と物の関わり(1)／テーマ研究・エスキース
			5		〃　(2)／ エスキース
			6		工具・道具の使い方／エスキース
			7		〃　／エスキース
			8		３面図の作図（原寸図の作図）
			9		〃
			10		モデル作成（ミニチュア又は実物大）
			11		〃
			12		〃
			13		部材加工、仕上げ
			14		〃
			15		プレゼンテーションボード作成/編集
			16		〃
			17		学科内プレゼン

備考	

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	ＣＧ・ＤＴＰ	総時間	前期	
									後期	8.0×17

指導目標	グラフィックデザインの考え方を理解し、デジタル技術を活用して、意図が伝わるビジュアル表現を習得する。 企画、プレゼン、設計、図面作成という建築のプロセスを、ふまえた上で建築物を読み解き、建築CGやDTP、Photoレタッチの知識・技術を駆使して習得させる。 Photoshop、Illustratorをつかって、プレゼンボードに仕上げる。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
			1		オリエンテーション/ テーマ設定
			2		プレゼン意図決定/プレゼンツール、内容決定
			3		プレゼン資料制作
			4		プレゼン資料制作
			5		プレゼン資料制作
			6		資料の編集
			7		資料の編集
			8		Illustrator演習
			9		Illustrator演習
			10		Illustrator演習
			11		Photoshop演習
			12		Photoshop演習
			13		Photoshop演習
			14		仕上げ、修正
			15		仕上げ、修正
			16		仕上げ、修正
			17		クラス内発表会

備考	

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	データベース	総時間	前期	
									後期	8.0×17

指導目標	ＥＸＣＥＬによる計算処理の方法を習得し、結果を表やグラフにする技法を学習する。さらには、ＥＸＣＥＬデータをより活用するための応用機能を習得する。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
			1		基本操作の復習
			2		基本関数の概要
			3		データの種類と入力方法
			4		データの種類と入力方法
			5		データの種類と入力方法
			6		基本関数の利用
			7		基本関数の利用
			8		基本関数の利用
			9		グラフの作成
			10		グラフの作成
			11		関数の使用方法
			12		関数の使用方法
			13		関数の使用方法
			14		データベースの取り扱い
			15		データベースの取り扱い
			16		マクロの作成
			17		マクロの作成

備考	

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	建築製図（月曜日）	総時間	前期	8.0×6
									後期	

指導目標	時間内に図面を完成させるテクニックや、要求される図面の的確な表現方法を習得させ、どんな課題にも対応できる力を身につけさせる。さらに、想定課題に対する徹底した演習により、合格図面の描き方を指導する。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
1		エスキス			
2		課題説明			
3		課題・個別添削演習			
4		二級製図模擬テスト①			
5		課題・個別添削演習			
6		課題・個別添削演習・グループミーティング			
			備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。	

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	建築製図（火曜日）	総時間	前期	8.0×6
									後期	

指導目標	時間内に図面を完成させるテクニックや、要求される図面の的確な表現方法を習得させ、どんな課題にも対応できる力を身につけさせる。さらに、想定課題に対する徹底した演習により、合格図面の描き方を指導する。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
1		エスキス			
2		伏図の説明・エスキス宿題の添削			
3		エスキス宿題の添削			
4		課題・個別添削演習・グループミーティング			
5		課題・個別添削演習			
6		二級製図模擬テスト③			
			備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。	

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	建築製図（水曜日）	総時間	前期	
									後期	

指導目標	時間内に図面を完成させるテクニックや、要求される図面の的確な表現方法を習得させ、どんな課題にも対応できる力を身につけさせる。さらに、想定課題に対する徹底した演習により、合格図面の描き方を指導する。
評価方法	

指　導　内　容

回数	月日	前　期	回数	月日	後　期
			備考		※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	建築製図（木曜日）	総時間	前期	8.0×18
									後期	

指導目標	時間内に図面を完成させるテクニックや、要求される図面の的確な表現方法を習得させ、どんな課題にも対応できる力を身につけさせる。さらに、想定課題に対する徹底した演習により、合格図面の描き方を指導する。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
1		二級製図試験の概要			
2		立面図・断面図			
3		課題の読み取り			
4		法規の説明			
5		課題の読み取り・耐力壁			
6		参考課題作図練習			
7		学科模擬テスト④			
8		学科模擬テスト⑤			
9		学科模擬テスト⑥			
10		４時間で書き上げる練習			
11		エスキスの作成			
12		課題・個別添削演習			
13		課題・個別添削演習			
14		課題・個別添削演習			
15		二級製図模擬テスト②			
16		課題・個別添削演習			
17		最終確認事項			
18		再現図採点/返却			
			備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。	

学科	研究科	学年	1	区分	実習	科目	建築製図（金曜日）	総時間	前期	8.0×6
									後期	

指導目標	時間内に図面を完成させるテクニックや、要求される図面の的確な表現方法を習得させ、どんな課題にも対応できる力を身につけさせる。さらに、想定課題に対する徹底した演習により、合格図面の描き方を指導する。
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。

指　導　内　容

回数	月日	前期	回数	月日	後期
1		矩計図・部分詳細			
2		エスキス			
3		課題・エスキス宿題の添削			
4		課題・個別添削演習			
5		課題・個別添削演習			
6		質疑応答			
			備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。	